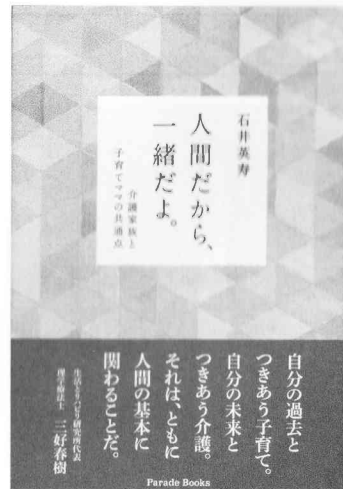


『人間だから、一緒だよ。』

介護家族と子育てママの共通点』出版

生き方の素敵なおの人、今、注目のこの人に
“節度ある好奇心”をもって徹底インタビュー

ちの いいさん家の 石井 英寿さん



定価 1000円+税
みもみのいいさん家にあります

『人間だから、一緒だよ』を出版なさったきっかけは。

子どもたちとふれあい、介護の仕事をしていく中で、子育てと介護には共通点があると気づきました。それを心に浮かぶまま、仕事の合間をみてスマートフォンに書きこんできました。

直接のきっかけは親戚の女の子が8歳で急逝したことです。生きたかったらうにー。そう思いました。そして「今を大切に生きる」ということを教えられたような気がして一冊の本にまとめました。

介護をお仕事になさったきっかけは何ですか。

高校時代、ラグビー部に所属していましたが、3日間、老人ホームへワーキングキャンプに行かされました。それが

終わって帰るとき、あるおばあちゃんに泣かれたのです。それでビビッときて。家でもおばあちゃん子でしたし。大学で福祉の勉強をして、卒業後8年間、介護老人保健施設に勤めました。

退職後、通所介護事業所「宅老所いいさん家」を千葉市柏井に開所、2年後には宅老所「みもみのいいさん家」を立ち上げてー

はい。勤めているうちに、いろいろなことにジレンマを感じるようになって。当時は情緒が不安定で粗暴行為のある人を縛りつけておく施設もありました。一日のスケジュールも介護する側にとって都合のいいように決められている。利用者に笑顔がない。こんなことでもいいのかなあと思いました。

私たちが出会うお年寄りには、それぞれ70年、80年の人生がある。その生活歴を受け入れて「ありのままに」「その人らしく」過ごさせてあげたい、笑わせてあげたいと考えました。

私たちは障がいのある人や老いた人への思いやりを自然に学びました。

職員の中には外国人もいます。学問として介護を学んだ人たちと違い「右手が使えないなら、左手があるでしょ」という大らかさに、ほっとします。

私には4人の子どもがいますが、子育てに関わる時間があまりありません。介護の現場で知り合った妻香子の理解と協力のおかげで、私はこの仕事が続けられています。

自分基準。

子どもに対してこうした方がいい。ということがある。でも、決してそうじゃないことがある。なんでも自分基準で物事を考えてはならない。なんでも思い通りにいくわけがない。しつけや、習い事も。

人間だから。個性だから。

お年寄りも、こうした方がいい。ということがある。でも、決してそうじゃないことがある。

なんでも自分基準で物事を考えてはならない。なんでもデータ通りにいくわけがない。ケアも、関わり方も、薬も。

人間だから。個性だから。



それはとても大変なことだろうと思うのですが。施設に着いても「降りない」と車の隅にいる人に石井さんが「サインしてもらいたい書類があるので」と言うとスッと降りてくる。長い間、そういうお仕事をしていた方なのですね。

せて裸にし、私も脱いで一緒にドボンと入ってしまう。ガシガシ頭も洗って二人とも笑顔になります。でも、これは他の職員にもやってと言えることではありません。

職員は若い方が多いですね。小さい子も、お年寄りもいるにぎやかな空間です。

お風呂が嫌いな人の前に白衣を着た私がお医者さんとして現れ「はい検温血圧測定」と言いながらどんどん腕が

昭和の頃はそれが普通の生活でした。年寄りはいろいろなことを教え、子ども

石井英寿著
『人間だから、一緒だよ。
～介護家族と子育てママの共通点～』より

石井英寿 オールフォアワン代表取締役
1975年生まれ。川口市出身。
・宅老所いいさん家(千葉市柏井)
・宅老所みもみのいいさん家
・いいさん家の介護相談室
・みんなのいいさん家
〒275-0001
習志野市東習志野 5-23-1
TEL047-472-8505

